

# 天変地異は

# どう語られてきたか

中国・日本・朝鮮・東南アジア（東方選書53）

串田久治編著／四六判296頁／本体2200円＋税

歴史・宗教・地域研究者九名が、アジア各地で地震・水害・疫病・異常気象などの「天変地異」をどのように語り継いできたかをひもとく。▼失政が天変地異を招く（串田久治）▼「大地震動」は吉祥（邢東風）▼地震は神の徴か？（青山亨）▼「日本の誕生と疫病の発生」（細井浩志）▼《琉球―沖縄》における海上からの「来訪者」と天変地異の「記憶」（二色哲）ほか。

# フォルモサに咲く花

陳耀昌著／下村作次郎訳／A5判440頁

本体2400円＋税

一八六七年、台湾南端の沖合でアメリカ船ローバー号が座礁し、船長以下一三名が原住民によって殺害された。本書は台湾現代史の原点とも言えるこの「ローバー号事件」の顛末を、台湾原住民、「異人」、中国からの移民など、さまざまな視点から、また、移民の歴史、台湾の風土なども盛り込みつつ描いた歴史大河小説である。

## 東方

中国出版文化の月刊総合情報誌 \*見本誌無料贈呈  
年間購読料一〇〇〇円（送料・税込）

## 東方書店

ホームページ【中国・本の情報館】<https://www.toho-shoten.co.jp/> \*価格税別  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-3 TEL03-3937-0300/FAX03-3937-0955



台湾文学セレクション④

## 惑郷の人

郭強生

Juan Sheng Kuo

西村正男訳

① フーガ黒い太陽

洪凌 櫻庭ゆみ子訳

② 太陽の血は黒い

胡淑雯 三須祐介訳

③ 沈黙の島

蘇偉貞 倉本知明訳

①③④ 二二〇〇円 ② 二五〇〇円

愛知大学国研叢書第4期第4冊

## グローバルな視野とローカルの思考

個性とのバランスを考える

愛知大学国際問題研究所編

三〇〇〇円

愛知大学国研叢書第4期第3冊

## 20世紀前半の台湾

植民地政策の動態と知識青年のまなざし

植山正純編

三〇〇〇円

愛知大学国研叢書第4期第2冊

## 歴史と記憶

文学と記録の起点を考える

松岡正子・黄英哲・梁海・張学昕編

三〇〇〇円

愛知大学東亜同文書院大学記念センター叢書

## 東亜同文書院卒業生の軌跡を追う

新刊

藤田佳久編

三〇〇〇円

## あるむ

名古屋市千代田3-1-12 第三記念橋ビル3F E-mail: arm@a.email.ne.jp  
☎(052)332-0861 ☎(052)332-0862 http://www.arm-p.co.jp

\*価格は税別